

STATEMENTS 2112 2017



行動するシンクタンク
一般財団法人 下関21世紀協会
Shimonoseki 21st Century Association

思索の人として行動し、行動の人として思索せよ
アンリ・ベルクソン (Henri Bergson) [1859 ~ 1941] フランスの哲学者

わがまち下関を愛するひとづくり

一般財団法人下関21世紀協会 理事 濱崎 康一

皆さんは下関についてどれだけ知っていますか？壇ノ浦の戦いや、幕末長州・高杉晋作について熱く語れますか？
2000年に下関に帰ってきた頃は、私も下関のことを何も語れませんでした。当時、まちづくりのワークショップに参加する機会が何度かありました。参加者からは「下関は宝物が多すぎてどれもうまく活かせていない」「観光PRが下手だ」と他人事のような意見がだされ、最後は「これからは海峡を活かしたまちづくりを…」でクローージング。参加者が変わっても、毎回デジャブのようにこの繰り返しでまちづくりに徒労感を感じていた頃、下関21世紀協会が開催した「わたしたちが選ぶ 下関の誇り100選」の発表会に出逢いました。下関が全国に誇れるものを公募した中から100個を選んだ事業で、発表会は美しいBGMが流れる中で梅高生が“下関の誇り”をひとつひとつ紹介していくスタイルで進行されました。全部聞き終えた時には、下関が誇らしくて胸が熱くなり、「21世紀協会ってすごい事業をしているんだな。こんな事業こそホントのまちづくりだ」と感銘を受けたのを覚えています。

「知ることで好きになり、好きになることで誇りになる」。私が大事にしている言葉です。下関のまちづくりに関わる中で、「ライフワークは下関の応援団」と言えるほど、下関のことが大好きになりました。休日は「馬関奇兵隊」というよさこいチームで活動しています。2012年に「こどもたちに、下関を知って、好きになって、誇りを感じて欲しい…」と、「好きっちゃ 好きなほ！下関」という曲をプロデュースしました。歌詞には下関の“誇り”を詰め込みました。その詞に、ギタリスト・田川ヒロアキ氏が曲をつけ、下関少年少女合唱隊や平家踊保存会も参加して、「田川ヒロアキから下関のこどもたちへのプレゼントソング」として完成し、よさこいの総踊り曲になりました。



平家踊り

好きっちゃ 好きなほ！下関

作詞／濱崎康一
作曲 編曲／田川ヒロアキ

歴史の舞台はここ下関 源平合戦 壇ノ浦
武蔵と小次郎 高杉晋作 時代の節目をみつめる海峡

「関の先帝 小倉の祇園 雨が降らねば 金が降る」
夜空を彩る海峡花火 平家踊りて ヤットエノエー

頃は寿永の四年の昔 奮るものは久しからず
譬えの如く平家の軍勢 ヤットエーソラエノヤットエノエー

魚市から馬関は明けて ふく・うに・くじら・いか・あんこう
冬の味覚の王様ふくに 博文公も「こりゃうまい！」

角島大橋 川棚温泉 小日本菊川 豊田のホテル
関門海峡行き交う船の汽笛と潮騒 まちの音色さ
夜空を彩る海峡花火 平家踊りてヤットエノエー



ジャケット絵：原和人氏

製作から5年が経過して、たくさんの小学校の運動会や学習発表会で踊られるようになり、山の田小や長府小では今年「地域学習の教材」として使われました。とっても名誉なことです。この曲を唄えるようになることが、「下関を知って、

語れること」につながり、下関に誇りを感じるきっかけになっていきます。そしてこの曲を踊れるようになると、自動的に郷土芸能・平家踊りを踊れるようになっていっている♪。理想的な広がりを見せているこの曲をもっと多くの人に知って欲しい…、そんな願いが神様に通じたのか、「好きっちゃ…」がカラオケの JOYSOUND と DAM に入りました。この曲の広がりには、「わがまち下関を愛するひとづくり」そのものです。これからもまちのソフトとして、もっと浸透して欲しいと願っています。

会議室で他人事のようにまちを論評するだけでは、まちは動き出しません。「このまちはつまらない」と愚痴る側にいるよりも、「おもしろき こともなき世を おもしろく」。わがまち下関を元気にする側で、私たちと一緒に活動しませんか？
下関21世紀協会では絶賛会員募集中です！